

18/7/2 大村知事定例記者会見（名古屋市民オンブズマン 自動文字起こしアプリによる文字起こし）

朝日新聞：朝日新聞です。名古屋城のバリアフリー問題について伺います。

知事は、前回、先日の会見 5 月の中旬だったと思うんですけども、基本的人権の問題であるということが発言されて以降もですね、障害者団体全国からの大規模な抗議活動があったりとかですね、代表者にハンガーストライキというものがついてまた議論というのは平行線をたどったままなんですけども、これについて現状どのようにですね受けとめていらっしゃるのかということがまず一点とですね、もう一点この週末 30 日に、障害者団体が、エレベーター設置を求める団体というのを設立したんですけども、そこに連合愛知の方がですね、参加されて、連合愛知として活動支援していくということを表示されました。

これについては受け止めとですね、今後の影響について、お考えを教えてください。

大村知事：名古屋城の天守閣復元と障害者団体との関係のですね動きについて 2 点ご質問いただいたというふうに思います。

まず 1 点目につきましては、これは私は 5 月半ばにですねこの会見で申し上げたと思いますが、世界日本及び世界というかですね世界の流れそれから日本においても通ってありますけれども、障害者の権利条約が採択批准されですね、それに国内法をどんどん整備されてきた。

バリアフリー法もできた、障害者の障害者施策のですね基本法も改正をされた。

障害者雇用促進法もできた、障害者の支援そのものをほぼですねできてきたと順次この障害者権利条約ですね、批准していくためにも国内法を議整備してきたという歴史があるのは御案内のとおりでございますし、障害者福祉の事業費予算関係が相当これもですねふえてきたとふやしてきたということはもう御案内のとおりでございます。

そういう流れの中での今回ということになりますとね、私は障害者団体の皆さんが特に全国の障害者団体の皆さんが名古屋に集まってきてですね、このことについて主張される、ということ、私はよくよくのことだと思いますよ。

よくよくのことだと。で彼ら自身がもうこれは、障害者の何ていいますか障害者の権利の中にね、やはりアクセス権というものもあるということも主張をされておられるというふうに私は、受けとめさせていただいております。

従ってですね、私はこれは、障害者の基本的人権にかかわるものだというふうに認識をいたしておりますので、当事者である名古屋市はですねこれはよくよくしっかりと受けとめていただいてですね、真摯に受けとめていただいてしっかり話し合うテーブルについて障害者団体の皆さんのお声はしっかりと受けとめていただきたい、お聞きをいただき、よくよく話をさせていただいてですね、より良い解決方法、よりよい方向性をしっかりと見出させていただきたい、そのことを強く申し上げていきたいというふうに思っております。

それが一点。

それから、名古屋城の今回復元にあわせてエレベーターを設置することを求めていく

という団体を作られたというのを報道で私も拝見をいたしました、そこに労働者の団体である連合愛知さんも、参加をして支援をするということも拝見をいたしました。

連合愛知さんの意向としてですね、やはりこうした障害者団体の方々の声をしっかり受けとめていく。そして連合愛知さんのいわゆる働く方々のね、仲間の中に障害を持たれた方おられるわけですね。今障害者雇用促進法で法定雇用率が順次上がっていったこの4月から2%ですかね、さらに身体・知的・精神とこうずっといろんな障害の種別とか入ってきて、職場の中で障害を持った方をどういうふうにこう支えてね一緒に仕事をしていくか、これも働く、働く方々のね、団体である連合さんにとっても大変大きな課題だということですね。私はお聞きをいたしております。

ですからかねてから連合愛知さんはこういった動きについては、それは支援をしていかなければいけないというような意向はお聞きをいたしましたので、そういう意味では今回こういったエレベーター設置を求める、団体を障害者団体さんが中心で作られる中に連合愛知さんが参加をして支援をしていくということは自然な流れの中だというふうに受けとめております。

ですからそういったことも含めですね、やはり私はやはり名古屋市さんは真摯に受けとめて、大変重大な事案だということで、真摯に受け止めてですね。言ってきたことをいろいろはぐらかすとかそういうことじゃなくて、真正面から真摯に受けとめて、そしてしっかりとこたえていただきたい。というふうに思っております。

それとこの名古屋愛知のですね、障害者団体の皆さん、まあADF愛知障害フォーラムの皆さん、愛知県の障害者団体を全てを、ほぼ全てを網羅したADFがね、愛知障害フォーラムの皆さんがこれを訴えている、強く求め訴えているわけですが、そこでとどまらずですね全国の団体からあれは北は青森、南は沖縄ですか。全国からですね、ここに集まりそしてハンガーストライキまでするという事は私はよくよくのことだというふうに思いますよ。

ですから全国の障害者団体の方がこの点は大変重大な事案だと、いうふうに言っておられるわけですから。私はそのことは名古屋市さんはですね、真剣に受けとめて、真剣に受けとめて、対応していかないとかなければならないことだというふうに思っております。そのことは強く申し上げたいというふうに思います。

日経新聞：日本経済新聞の三輪です。

先ほど、名古屋城でエレベーターに関する県の、知事ご指摘の通りなぜ障害者の方がそこまで切実に思いを訴えなければならぬのかというのは私も思うところなんですけれども、先ほどですねと知事おっしゃったのは名古屋市において、しっかり解決策を見出してほしい。

というようなお話をいただきました。以前5月ときもそのようなご指摘だったかと思うんですが、その際はですね、県としてもできることを考えていきたいというようなお話がありましたけれども、現状この考えというのはお変わらないのでしょうか。

大村知事：変わっておりません。県としてできることは考えております。

引き続き状況はしっかりと注視をしていきたいというふうに思っております。

というのと早くですね、早く私は話し合いをしてね話をつけていただきたいという形で障害者団体の方々とですね、角付き合わせるといふ状況といふのは私は、はっきり言って異常な状態だといふふうに思いますから、それを早く事態を収拾していただきたい。

そのことは強く申し上げたいといふふうに思います。

今この世の中の中ですね今この時点で今今の時点でといふのがいかな時期ってことかどうかわれはありますが、昔からもそうでしょうけれどもやはり我々行政体ですね。

行政体が障害者団体の方々と角付き合わせるといふのはですね、私は正常な状態ではない異常な事態だといふふうに思います。

一刻も早くですねそれは話し合いをし、しですね。

話をつけてより良い状態に持って行っていただきたい、早く正常化をしていただきたい、そのことを強く申し上げたいといふふうに思います。よろしいでしょうか。

ですから基本的なね、どういう形のあれがっていふのありますけど基本的な姿勢としてやはり今我々のねやって、今の今を生きるこの時代、それから我々の目指すべき社会、いふのはバリアフリーで社会めざしましょうと。

そして障害者も健常者も共にですね、語らいともに同じ場所で住まい同じ活動し同じようにしっかり一緒にね個性と能力を生かして働き働いていきましょうとお互い支えあっているといふ、社会の選択をしているはずであります。

ですから、そういう意味で、我々も方向としては障害者の方々に寄り添っていく。

そういう施策、そういう姿勢でそういう社会を目指していくといふことを選択しているはずであります。

ですからそういう一刻も早くそういう方向にしていきたいといふことを強く申し上げます。

そして5月にも申し上げましてはこれはことは基本的人権にかかわる問題であるといふことをございます。基本的人権にかかわる問題だといふことで重大に受けとめていただいて。

1日も早く、この事態は収拾をしていただきたい。

そのことを強く申し上げたいと思います。